

バスツアークイズの解答編



- 第 1 答 ② この句碑は、元は桜町の小沼の池付近にあったもので、「忍名所図絵」にも記述が見られます。その後移され、現在のところへ移動されました。碑表には「古池や蛙飛こむ水の音 芭蕉翁」と句が刻まれ、碑裏には「多少庵秋瓜謹書」とあります。安永から寛政にかけて江戸で活躍した俳人です。(緑泥岩、高さ174cm)
- 第 2 答 ③ 4代 伊奈忠克・いな ただかつ(1617-1665年)、関東郡代、初代は忠次で利根川東遷事業に代々力を尽くした。その二代忠治の嫡男。
- 第 3 答 ④ 毎年5月に行われる台東区浅草の浅草神社。名前は旧名である三社大権現社または三社明神社に因む。
- 第 4 答 ② 2, 2 3 4 mm 国宝で通称「ふつみたまの剣」名称は「直刀・黒漆平文太刀拵」ちよくとう・くろうるしひょうもんたちごしらえ、奈良時代～平安時代。
- 第 5 答 ④ 南関東は北米プレートの上に乗っていますが、その下に相模トラフからフィリピン海プレートが、さらにその下に日本海溝から太平洋プレートが沈み込んできています。
- 第 6 答 ② 30cm 体が巨大でも必ずしも大きくありません。全長10m以上にもなった、カモノハシ竜のサウロロフスの歯は一つが5cm程の大きさです。大きい歯は、獣脚類にみられます、ティラノサウルス(全長13m)では歯も大きく上あごのもっとも長い歯は歯冠部だけで10cmあり歯根部を含めた長さは30cmになります。歯は長いだけでなく厚く丈夫に出来ています。
- 第 7 答 ③ 香取神社の「おらんだ楽隊」幕末から明治にかけて旧来の神楽に洋楽を取り入れて成立した例祭のほか、午年の4月14、15日の式年神幸祭に披露される。「鎌数伊勢大神宮」—鎌数の神楽。伊勢神宮の御神木とお札のご利益により椿海の干拓が成功した事に感謝して奉納するようになった。「玉前神社」—玉前神社神楽。宝永7年(1710年)、土師流の神楽が奉納されたのが記録上の初見。春秋の祭礼時をはじめ年7回披露される。「諏訪神社」—笹川の神楽。建久2年(1191年)、千葉成胤が源家の長久を祈って奉納したのが始まりとされている。
- 第 8 答 ③ 針 忠敬は地図をつくる時、独特(どくとく)の方法(ほうほう)を用いました。まず正確に測量(そくりょう)したデータから、正確な下図をつくります。次に、下図を地図になる紙の上に重ねて、線の曲(ま)がり角に、針(はり)で小さなあなをあけます。地図になる紙のほうにも同じあながあくので、それを線をつないで下図と同じ線をコピーしました。
- 第 9 答 ①・・・(㊟)高橋至時・たかはしよしとき、②・・・(㊤)浅草、③・・・(㊦)17年間全10回
④・・・(㊢)大日本沿海輿地全図・だいにほんえんかいよちぜんず
- 第 10 答 ①・・・(㊤)幕府に献上され、②・・・(㊤)明治になる前、③・・・(㊤)日清・日露戦争